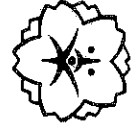


No.16

発行/奈良市議会  
編集/奈良市議会だより  
編集委員

# 奈良市議会だより



〒630 奈良市二条大路南1-1-1  
奈良市議会事務局  
☎(0742) 34-4734

本会議の開会に先立ち、去る八月二日死去された、故岡崎貞次郎議員に対し、全員で黙とうをささげ、議長から追悼の辞が述べられたあと開会し、西田市長より二期目のスタートに当たって今後四年間市政を担当する上での施政方針について披歴がありました。

西田市長は、まず今年が市制九十周年の記念すべき年であるが、これは百周年へ向けてのスタートの年であり、来るべき二十一世紀への船出の年であると位置づけ、世界に誇る歴史的文化遺産を子孫に伝えることは我々に課せられた使命である。国際文化観光都市として市民が快適に暮らせ、市民が夢を持てる、そして世界の人々が集うまちを目指し、二十一世紀を展望した「住んでよかった。生まれてよかった。」と言える魅力あふれるまちにしたいと決意を述べられました。

具体的には、保存と開発と



小学生のさつま芋も掘り（市立青少年土に生きる家農園で）

いう相反する課題を克服し保存すべきは十分に保存し、開発を必要とするところは周辺環境保全を配慮した上で積極的に開発する。JR奈良駅周辺では県下初の民活導入型

プロジェクトで「シルクロード・タウン21」の建設、近鉄西大寺駅周辺の副都心としての整備、平城宮跡周辺は関西文化学研都市の一環としての古代文化ゾーンの整備、市内

全域にわたっては下水道事業の促進、布目タムの早期完成、都市計画街路の整備に努める。

地域経済の活性化については観光を中心とした活性化が重要であるとして、新しい奈良の創生を目標とした観光対策基本構想実施計画の策定を急ぐ。中小企業振興施設の設置。バイオテックを導入した農業施策の実施等総合的な活性化対策を進める。

学校教育、社会教育両面での教育環境の充実、福祉都市として、個人への援助施策の継続や、社会福祉法人への財政援助を講じ一層の充実を図る。

同対策協議会の建議を最大限尊重して、差別のないまちづくりを一層強力に推進し、部落解放基本法制定への取り組みも引き続き行う。

議会で決議された非核平和都市宣言を尊重し、平和のための具体的施策を図ることなどを明らかにしました。

## 九月定例会

昭和六十三年九月定例会は九月二十七日から十月七日までの十一日間の会期で開きました。

去る九月二十五日投票の奈良市長選挙で再選を果たした西田市長にとっては、二期目のスタートに当たる議会であり、市長が目指す「住んでよかった。生まれてよかった。」と言えるまちづくりを進めるための今後四年間の施政方針が述べられました。

また今議会では、昭和六十二年度の水道事業など三公営企業会計決算の認定や、一般会計など五会計の補正予算、条例の一部改正、工事請負契約の締結など二十四件の議案が審議され、いずれも原案どおり可決しました。

# 二期目の施政方針を披歴 西田市長再選後初の議会

## 委員の一部変更

都市基盤整備特別委員会  
(新) 横田利孝・城本幸夫  
(旧) 福西 靖・橋本和信  
議会運営委員会・議会だより編集委員会  
(退任) 城本幸夫

## 原田栄子氏が当選 市議補欠選挙

岡崎貞次郎議員の死去に伴う市議会議員補欠選挙が去る九月二十五日執行され、日本共産党公認候補、原田栄子氏が当選されました。この結果、議会届出の会派「日本共産党奈良市議会議員団」は、構成員六名となりました。

また同議員は、総務財政委員に選任されました。

## 請願

今定例会に提出された請願は次のとおりです。

北嵯尾町における給水施設設置に関する請願書  
請願者 奈良市北嵯尾町九  
〇四 奈良市北嵯尾町自治会長 磯田利一氏外七十二名  
(経済水道委員会付託)

## 議会日誌

- ☆七月
- 7日 議会だより編集委員会
- 11日 議会だより編集委員会
- 14日 企画建設委員会
- 25日 都市基盤整備特別委員会
- ☆八月
- 1日 議会だより第15号発行
- 2日 教育厚生委員会
- 3日 幹事長会
- 5日 経済水道委員会
- 8日 総務財政委員会
- 12日 幹事長会
- 26日 経済水道委員会
- ☆九月
- 12日 総務財政委員会
- 20日 内示会

## 産業廃棄物の投棄阻止に関する請願書

請願者 奈良市精華地区自治連合会長 宮下明弘氏外七名  
(企画建設委員会付託)

## 赤膚国有地の緑を守り、公共利用の促進を求める請願書

請願者 奈良市五条町二〇二七七 赤膚国有地の緑を守り、公共利用を促進する会 会長 上北俊夫氏外九千七百十三名  
(企画建設委員会付託)

## 請願・陳情のしかた

請願は、国や地方公共団体の機関に対し希望や要望をすること、憲法により保障され、地方自治法にも認められている市民の権利です。

市議会への請願は、文書で請願の趣旨、提出年月日、住所、氏名(法人の場合はその名称と代表者の氏名)を記載して押印したものを紹介議員を経て議長あて提出してください。

陳情は、紹介議員を必要としません。そのほかは、請願と同じです。

## 陳情

都市計画道路(仮称)油坂芝辻線の変更決定反対に関する陳情書  
陳情者 奈良市大宮町二丁目八二六 都市計画道路(仮称)油坂芝辻線変更決定反対運動連盟 代表者 前川忠雄氏外十五名

天皇陛下の御快癒祈願決議に関する陳情書  
陳情者 奈良市西千代ヶ丘三丁目九一六 日本労働党 委員長 辻山清氏

## 岡崎貞次郎氏

岡崎貞次郎議員(七十歳、西ノ京町一七二)は八月二日、入院先の奈良県立病院で心不全のため逝去されました。

同氏は昭和四十二年四月に奈良市議会議員に初当選され、六期目でした。この間、昭和五十一年から五十二年の副議長を初め奈良国体特別委員長などを歴任されました。

生前の功績に対し、正六位勲五等双光旭日章が贈られました。

- 20日 幹事長会
- " 議会運営委員会
- 27日 九月定例会開会
- " 議会だより編集委員会
- 3029日 本会議(質疑・一般質問)
- ☆十月
- 543日 公営企業決算特別委員会
- 5日 内示会
- 7日 九月定例会開会

# 答

## 保存と開発

### 21世紀の都市計画 『シルクロード・タウン21』

## 本会議

### 開発と景観の調和したまちへ 二期目の施策を活発にたす

九月定例会の本会議は九月二十九、三十日の二日間にわたって質疑、一般質問が行われ五名の議員が質問に立ちました。

各議員は再選された西田市長二期目の施政方針を中心に、開発と景観の調和による都市の基盤整備、農、商業の振興、高齢者福祉、社会教育の拡充などについて西田市政の新しい行政施策を問いました。

以下は、その質問と市長ら関係理事者の答弁の要旨です。

九月定例会の本会議は九月二十九、三十日の二日間にわたって質疑、一般質問が行われ五名の議員が質問に立ちました。

各議員は再選された西田市長二期目の施政方針を中心に、開発と景観の調和による都市の基盤整備、農、商業の振興、高齢者福祉、社会教育の拡充などについて西田市政の新しい行政施策を問いました。

以下は、その質問と市長ら関係理事者の答弁の要旨です。

### まちの活性化に民活利用

問 都市開発と区画整理における保留地、保留床に民間からの企業を誘致することが大切と思うが市長の考えはどうか。また、完成後、この地域と周辺地域とに都市機能面

で大きな格差が生じないか。

答 企業誘致は先般、民間約七十社を呼んで事業内容の説明会を行った。

市街地再開発事業というのは、保留床の処分の成否によ

問 「シルクロード・タウン21」と名付けて行われるJR奈良駅周辺の新都市拠点整備事業は、21世紀への奈良市の飛躍台となる。

市長は、この事業を世界的に著名な建築家黒川紀章氏に総合プロデュースを依頼したと聞くが。

答 古都・奈良市の場合、保存と開発の調整は他都市と

異なる。それは奈良市の宿命である。その歴史と文化財は国民的立場から保存すべきものであり、同時に住民の生活の向上と近代化を満足させることが大切で、このために苦慮してきた。

建築家の黒川紀章氏には、先般、JR奈良駅周辺の再開発について話し合い、この駅周辺を核として三条通り、小西通り、餅飯殿通り、東向通りなどの発展に対する意見を求めた。

同氏は、この「シルクロード・タウン21」の事業プランは奈良に大変ふさわしいとして総合的なプロデュースを約束された。

### 21世紀の都市計画 『シルクロード・タウン21』

## 保存と開発

### 21世紀の都市計画 『シルクロード・タウン21』

## 本会議

### 開発と景観の調和したまちへ 二期目の施策を活発にたす

九月定例会の本会議は九月二十九、三十日の二日間にわたって質疑、一般質問が行われ五名の議員が質問に立ちました。

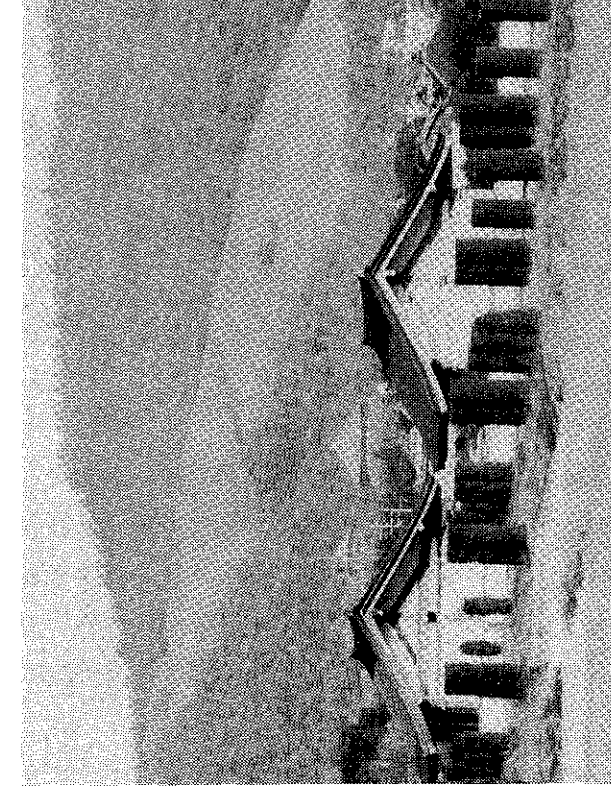
各議員は再選された西田市長二期目の施政方針を中心に、開発と景観の調和による都市の基盤整備、農、商業の振興、高齢者福祉、社会教育の拡充などについて西田市政の新しい行政施策を問いました。

以下は、その質問と市長ら関係理事者の答弁の要旨です。

九月定例会の本会議は九月二十九、三十日の二日間にわたって質疑、一般質問が行われ五名の議員が質問に立ちました。

各議員は再選された西田市長二期目の施政方針を中心に、開発と景観の調和による都市の基盤整備、農、商業の振興、高齢者福祉、社会教育の拡充などについて西田市政の新しい行政施策を問いました。

以下は、その質問と市長ら関係理事者の答弁の要旨です。



平城宮跡から望む東大寺・若草山

## 景観問題

### 高まる住民の景観保存

問 最近、古都の景観と開発を課題にして学者や建築専門家のシンポジウムが頻繁に行われている。市でも九月八日、学識経験者による都市景観懇談会を發足したが、この懇談会で検討される課題は何か。また、まとめられた意見を市長はどのように行政に生かす考えか。

答 奈良市は、古都だ、古

都だといつて昔のままの姿では発展はない。

文化的で環境のよい近代的な生活を営みたいとの願いと保存をどのように合わせていくかである。

まず、私は奈良の遠望景観を考え、例えば平城宮跡から東を見た場合の奈良の修景、これが壊われない範囲内において部分的に開発を認めて

って決まる。このためには、百貨店、ホテルなど、どんな企業にするかだが、奈良市の活性化への協力度によって判断したい。

このために企業のアイデアを出してもらおう。たとえば厚かましい話だが、「うちが多目的ホールをつくる」といった企業もあってもよい。

### 駅前整備が急務 西大寺、学園前、富雄の三駅前

## 駅前整備

いくべきで、それを超えてということになる問題がある。そういう範囲内の開発を認めていかないと、奈良市民だけが取り残されるということになる。

このため都市景観懇談会は歴史的景観と町並みをどういう姿にすべきかをテーマに討議して、奈良独自のものを考案してもらおうとしている。

問 近鉄西大寺駅周辺は軌道の要衝に当たり、その利便さから、周辺は民間業者によって開発が進められ、道路は、マヒ状態になり駅前広場と幹線道路の整備が急がれている。

駅の南側は区画整理事業、北側は再開発事業で実施されるが、事業完成後の交通動態の変化はどうか。

答 近鉄の西大寺駅前は、交通の渋滞が問題になっている。駅の東と西にある踏切は、どちらも遮断時間が長いから西大寺の町が南と北に分かれている格好だ。一刻も早く線路の立体化が望まれるが、その前に駅北側の再開発と駅南側の区画整理を急ぎ、そういう中で立体化の構想を練り研究をしているところだ。

問 住宅開発による人口増

が進んでいる近鉄富雄駅の再開発や学園前での駅周辺の再開発プランを聞きたい。

さらに学園前駅南側にコミュニティ・センターを造るとのことだが、どのような計画をしているのか。

答 富雄駅前の再開発では、二度にわたってアンケートによる意識調査をした。結果は、まだ三五%程度の賛成しかなく、その上、ほとんどが民有地であり、住民の協力がないうえ、今後は一層、地域住民の啓蒙に力を入れた

## 教育

### 生涯学習センター 六十五年に建設予定

問 市長は公民館のほかに市民の触れ合いと文化活動の促進に生涯学習センターをつくるといったが、その具体的な構想を知りたい。

答 生活の中の余暇時間の増大と高齢化の進行で公民館の利用者が多くなり、抽せんによらねば使用できないところが出てくる。これからは、生涯学習は大切な施策になってくる。教育、文化、スポーツに関する調査、青少年の教育相談、婦人の地位向上などを含めた生涯学習センターをつくる計画である。来年度に用地を買収し、六十五年度に建設を始める計画をしている。

問 子供の個性を伸ばす教育論議が高まっているが、報道によると、学校によって

は、厳しく、細かい校則を押しつけ、従わない生徒を排除する事例が、次々に出てくる。市の場合、各学校現場ではどうなのか。

答 本来、校則はその学校の実態によって独自に決めるものである。本市の中学校生徒指導連絡協議会では数年前から各学校から校則についての資料を出し合い適切に定められているかどうか検討、協議している。

### 実態に沿う校則

は、厳しく、細かい校則を押しつけ、従わない生徒を排除する事例が、次々に出てくる。市の場合、各学校現場ではどうなのか。

答 本来、校則はその学校の実態によって独自に決めるものである。本市の中学校生徒指導連絡協議会では数年前から各学校から校則についての資料を出し合い適切に定められているかどうか検討、協議している。



環境問題

マンション業者と住民の争い  
市は双方の接点に

問 市が行った市民への新しいアンケート調査によると、約千人の回答者のうち七百五十四人が「奈良市に住んでよかった。」と言ひ、その中の八〇％が「自然環境がよいから」と答えていた。

さらにどういふ行政施策に力を入れてほしいかという設問には、圧倒的に安全で快適なまちづくりであり、この二つに込めるのが新市政の急務である。

これに関連して一年以上も住民と業者が法廷で争っているのが高畑町のマンション建設問題だ。

基礎法施行条例に違反していると言っている。これほどの法令違反があるのに、なぜ行政側が確認をおろしたのか。

答 この問題は、地元から市議会に出された請願が取り下げられたという経過のあるものだが、市の事務処理は、六十一年十月の都市問題調整会議を経て、六十二年四月二十八日に、都市計画法二十九条による開発行為の申請を許可、最終的には、同年八月二十日、建築確認をおろした。

その後、住民側と業者で本訴の状況となっているが、指摘の法違反はなく、市の事務処理としては、適法に処理をしている。

質問と

水道

おいしい水に  
市民の関心

問 農業による水質の汚染を防止し、安全で、おいしい水の供給に市民の関心が高まっている。

厚生省が発表した「おいしい水の基準」からみて本市の水道水は、どの程度なのか。

答 六十年度に厚生省がまとめた「おいしい水の基準」の七項目を本市の上水道はクリアしており、おいしい水の部類に入る。

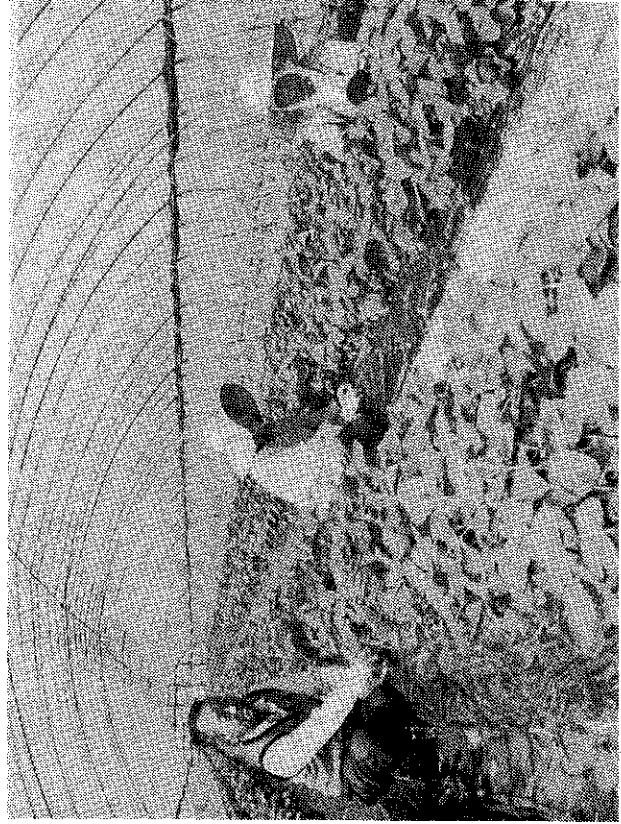
農業

近郊農業の特質生かせ  
農協の技術指導必要

問 我が国の農産業は、高度経済成長による重化学工業優先のもとで農産業の後退を余儀なくされ、農林水産省の六十三年度の調査でも農業就業人口は前年比で一・五％減と

なり、年齢別では五十九歳以下が減少し六十歳以上の占める割合は、四九・六％、ほぼ半数に達している。

市長は、市農業の経営規模の拡大、流通の合理化の推進



ビニールハウスでのイチゴ栽培

問 人口の増加する奈良とでは開発と保存が重要だ。これからマンション建設が増え、このようなケースも多くなる。この場合、市民生活に直結する市の行政の立場は、地域住民と業者がコンセンサスを求めるための接点に立つ姿勢が必要ではないのか。

この際、各自治会単位に住民の協力で「環境カルテ」を

作成し、コンピューターに打ち込んで、データとして市が保有し、その地域の社会性や文化的、歴史的特殊性がよく分かるようにして業者に適切な指導やアドバイスをするのが情報化時代の行政ではないか。

答 マンション建設には、各地で住民と業者のトラブルが増えている。しかし、現在の建築の確認業務は基準法に

合っておれば一定期限内に確認せねばならないということになっている。

コンピューターに人力する環境マップづくりは、よく研究してみたい。住民と業者のトラブルについては、市民で解決すべき問題であるが、市としても積極的に仲介の役をとっていくようにしたい。

によって都市近郊農業としての立地条件を十分に生かさねばならないといったが、その具体的な説明をされたい。

答 農地の減少と高齢者の増加による後継者難が奈良市農業の悩みである。このため少ない農地に科学性を加え、高い生産性を上げる方向に進むため、近畿大学農学部を富雄地区に誘致することにした。

すでに大学側では、市内の農家の実態調査を行っている。今後は、大学、農協、さらに農家との交流を進めて近郊農業の発展を図る計画をしている。

問 農協が一本化されたのは結構だが販売、流通面に力を入れるだけで生産農家への技術面の指導が欠けている。農協も市も技術指導員を置くべきではないか。

答 現在技術指導は、県の農業改良普及所指導員が巡回指導をしており、これを十分におもた、今後は農協とよく相談し、市も協力しながら技術指導も行えるようやっていきたい。

福祉

事故防止にシルバー  
希望の高齢者ドライバーに

問 最近、六十五歳になって企業の第一線で活動している知人が老人会への入会を誘われて、いやな思いをしたといっていた。このような例は多いようだ。高齢者社会を迎えて、高砂市では、老人という言葉には暗いイメージがあるとして、条例の中の語句を「高齢者」に統一した。

また、大阪市も本年四月に老人福祉課を高齢者対策室と名称を変更、奈良県でも、すでに六十年四月に老人福祉課を高齢者福祉課に改称している。これに対する市長の所見を聞きたい。

答 平均寿命の伸びで、まだまだ多くの高齢者が若い気概を持って仕事をしているのは大事にしたい。市でも前々市長時代から老人クラブを「万年青年クラブ」と名称を変えている。

老人という名称については法律、政令との関連もあるのをよく調査研究したい。

問 高齢者による交通事故で大阪府警がまとめた資料によると、六十五歳以上のドライバーは五人に一人が事故を起こしている。

マイカーを運転する高齢者が年々増加する。このために高齢者の運転する車には、「安全シルバーシール」を图案化して希望者に配布、車の後部に添付することを提案したい。

答 車両運送法の規定もあり、関係機関と協議の上、可

能なら希望者に配布したい。

ボランティア基金順調

答 福祉ボランティア活動は、昨年度まで国の指定を受けていたが、六十三年度からは市の単独事業で、人物の整備を計画した。市内のボランティアは二十八グループ、七百五十三人が登録されている。その活動のための基金として五カ年で一億円を目標にしている。今のところ市民からの寄付が五千万円、市からは二千万円で七千万円となっているので、目標は達せられる。この基金から生じる果実で活動ができるようにしたい。

商業

情報センター  
小売業振興に

問 市長は市内の中、小の小売業界の振興にマーチャント・シードセンターの設置を希望すると言ったが、その目的と内容を説明されたい。

税制改革でも  
福祉は後退せず

問 奈良市では、七月一日現在で、三万二千六百三人が低所得の非課税者である。

また、生活保護世帯は、全世帯の二割、二千三百三十七世帯となっている。消費税はこれらの人々には減税にならずに増税になって不公平感は大である。

一方、市財政でも歳入では十一億円の減収となり、歳出では七億円の支出増になる。歳入減の十一億円が仮に補てんされるとしても、丸々七億円の支出増が市の負担となる。福祉や教育の後退はしないか。

答 今回の税制改革は、税制に対する国民の不公平感をなくし、同時に高齢者人口の増加による社会機能充実の財源確保が目的とされている。このため国会で十分な審議をしてもらいたいというのが私の希望で、今、この税の是非は論じたくない。

私としては、今後、さらに弱い階層の人たちに目を向けたい。デイサービス、在宅ホーム、緊急通報システムを導入、特別養護老人ホームの新設拡張などに対する財政援助を強化していく考えである。福祉の後退はしない。

答 マーチャント・シードセンターは、商業者の情報センターで、消費者のニーズや流行の新しい情報を全店に流すものである。

センターの内容や機能について、このほど第一回の研究会を行った。場所は餅飯敷町内で予定している。

公営企業決算特別委員

- 委員長 高田 善次
- 副委員長 大谷 督
- 大西 富雄 米澤 保
- 中村 誠一 西岡 憲孝
- 西村 孝春 和田 晴夫
- 横井 健二 船越 義治
- 真銅 四郎 石橋 守
- 小林 昭代 中村 重信

公営企業会計の決算状況

区分	収益的収支		資本的収支		内部留保資金等充当額
	収入	支出	収入	支出	
宅地造成	31,880	19,081	0	91,506	91,506
水道	5,793,481	5,611,855	1,817,049	2,707,315	890,266
簡易水道	96,155	98,802	47,554	52,125	4,572
当年度未処分利益剰余金	1,045,376	612,857			

公営企業決算を認定

水道は一億八千万円の黒字

昭和六十二年公営企業会計決算の概況は次表のとおりで、経営状況については、宅地造成事業費特別会計で一千二百七十九万九千円、水道事業会計で一億八千六百六十二万六千円の黒字に、簡易水道事業会計では二百六十四万七千円の赤字となっております。

公営企業決算特別委員会の経過

九月定例会で、市長より議会の認定に付されました宅地造成事業費特別会計決算、水道事業会計決算及び簡易水道

厳しい財政事情

一層の企業努力を

問 今後の簡易水道の値上げ、布目ダム、比奈知ダム建設に伴う水源対策費等を付加すれば販売原価はさらに高くなる。

答 一トン売ることによる二円五十一銭の赤字を受託工事収益、受取利息等で賄い利益を生じているが、将来的には厳しい財政事情下にあるり、企業努力のほか電算機導入による省力化等についてさらに努力していきたい。

水質への影響懸念

ゴルフ場農業使用

問 水源地域でのゴルフ場の芝生に多量の農薬が使われ、水質への影響が懸念されるがどうか。

答 最近国において実態調査の実施、水質基準の見直し、汚染化学物質の分析方法の確立等の対応が見られるので、国の動向も見ながら万全を期したい。また、ゴルフ場設置許可権者の県知事に対して水源の涵養も含め配慮されるよう要望していきたい。

64年に19万7千トンの削減

問 今後の水需給計画はどのようになっているか。

答 六十二年の水需能力は十八万九千トンであるが、六十四年度最大取水量がこれを上回るので現在建設省に九万七千トンの水利権の申請をしている。需給計画については十年先を見越しての対応が必要ことから、布目ダム完成以降は七十年完成予定の比奈知ダムへの利水加入が確定している。



問 小倉(山辺郡)の産業廃棄物処理場跡の水質状況はどうか。

答 処理場跡の排水流入溝で行っている最近の水質検査では、化学的酸素要求量で二〇〇mg/l前後で推移している。クロム、カドミウム、鉛は工場排水基準値内におさまっており、シアノ、ヒ素、水銀は検出されていない。検査結果は、経年的に横ばい状態で水道水に影響はない。

有収率の伸びは

問 総配水量に対して漏水などを除いた料金収入にはね返る水量の割合となる有収率の見通しはどうか。

答 六十二年度末有収率は八八・六三%で、漏水防止作業を開始した五十二年に比べ一〇・四七ポイント上昇している。飽和値は八七・五%から八八・五%と推定している。計画的な配水管改良工事、漏水防止作業等により有収率の上限値に到達しつつあり、今後は現状数値の前後で推移するものと考えている。

水道需給計画表 (昭和65年度まで)

区分	年度	1日1人1日		1日1人1日		1日1人1日		水源能力	備考
		最大給水量	平均給水量	最大給水量	平均給水量	最大給水量	平均給水量		
62	331,529	155,470	128,289	469	387	163,700	180,900	180,900	
63	338,700	166,100	133,400	490	394	176,000	(197,100)	(197,100)	
64	345,700	173,500	139,400	502	403	184,300	184,000	(197,100)	
65	350,400	176,800	142,000	505	405	187,900	(197,100)	(197,100)	

市長専決処分の報告並びに承認を求めることについて

- 昭和三十二年一般会計補正予算 選挙執行経費一千九百円の減額補正
- 財産の取得について J R 奈良駅周辺地区住環境整備

その他の九月議会で決まったこと

- モデル住宅建設用地の取得
- 昭和三十二年一般会計外三特別会計補正予算 総額十六億六千五百三十四万六千円の補正
- 工事請負契約の締結について
  - 秋篠新町〜秋篠町地内西大寺北都市下水路築造工事
  - 神取町地内奈良市公共下水道明治幹線築造工事(1工区)
  - 近鉄西大寺駅南土地画整

仮称奈良市神功保育園園舎新築その他工事

- 富雄南幼稚園園舎改築その他工事
- 仮称登美ヶ丘北公民館新築その他工事
- 青少年土に生きる家改築その他工事

委託契約の締結について

- 公共下水道施設(平城浄化センター)増設 設置事業

理事業整備工事(1工区)

- 公共下水道施設(平城浄化センター)増設 設置事業

編集後記

一面には秋晴れの十月十九日、青少年土に生きる家の農園で市内の小中学生一三〇人余りがさつまいも掘りを体験している写真を掲載しました。勤労体験学習の一環として例年幼稚園児、小学生を対象に行われていますが、今年も九幼稚園一五〇〇人の園児と四小学校五二六人の児童、合計一七六六人が三千株のいも掘りを体験します。

他都市との比較

水需事業会計決算審査の中で比較検討された類似都市の数値は次のとおりとなっております。(対象都市は二十五市)

配水管使用効率(給水量を導、送配水管の延長で除した一辺当たりの給水量を示し、数値の高い方が効率がよい)

最高は豊中市の九九・一%、昭和三十二年の給水人口三十万人以上の都市の平均は、四五・三八%、奈良市は八六・四七%、六十二年

調査二十五市中二十四位であります。

職員一人当たり営業収益最高は千葉県柏市の五千

固定費の見通しは

問 総費用に占める固定費の割合は小さい方が弾力性があり、五十九年度七八・九%に比し六十二年度は七一・〇%とよい傾向にある。今後の見通しはどうか。

答 人件費については六十二年以降人員不補充で対応しており今後も若干の変動はあるかと思うが、おおむね六十二年度ベースで推移するのではないかと見通している。

簡易専用水道

市は行政指導を

問 簡易専用水道(ビル等の十トン以上の受水機)の水質保全の上から、市としてその実態把握に努め行政指導する考えはないか。

答 設置者すなわち建物等の所有者が管理することになっており、水道事業体としては権限外のことであるが、他

都市の状況を勘案しながら行政指導できるものは行

きたい。